

2022年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年9月14日

上場会社名 株式会社CAICA DIGITAL 上場取引所 東  
 コード番号 2315 URL https://www.caica.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 伸  
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役副社長 (氏名)山口 健治 (TEL)03(5657)3000  
 四半期報告書提出予定日 2022年9月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年10月期第3四半期の連結業績(2021年11月1日~2022年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第3四半期	5,035	17.9	△563	—	△569	—	△13	—
2021年10月期第3四半期	4,271	△3.4	△568	—	△578	—	△120	—

(注) 包括利益 2022年10月期第3四半期 22百万円(—%) 2021年10月期第3四半期 △173百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年10月期第3四半期	△0.12	—
2021年10月期第3四半期	△1.86	—

(注1) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(注2) 当社は、2021年5月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年10月期第3四半期	60,819	11,547	18.3
2021年10月期	107,218	11,396	10.3

(参考) 自己資本 2022年10月期第3四半期 11,133百万円 2021年10月期 11,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年10月期	—	0.00	—	—	—
2022年10月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2022年10月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2022年10月期の連結業績予想(2021年11月1日~2022年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

通期連結業績予想については、現時点において適正かつ合理的な連結業績予想の算定が困難であることから、2021年12月20日に公表した連結業績予想を取り下げ未定としております。詳細につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社カイカフィナンシャルホールディングス

除外 2社(社名) EWA匿名組合、EWC匿名組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年10月期3Q	114,269,094株	2021年10月期	113,728,094株
2022年10月期3Q	98,445株	2021年10月期	74,245株
2022年10月期3Q	114,180,634株	2021年10月期3Q	64,688,826株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2021年5月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年11月1日～2022年7月31日）におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格や原油価格の高騰、急激な円安による物価の上昇に加え、新型コロナウイルスの感染再拡大など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開するITサービス業界及び金融サービス業界は、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、新たな生活様式が定着していく中で、さらなるデジタルトランスフォーメーションが進むことが予想されます。

このような状況の下、当社グループは、デジタル金融の世界を切り拓くべく、ITサービス事業においては、大手SIer等の既存顧客からの受注の拡大に加え、一次請けの比率向上に努めました。金融サービス事業においては、暗号資産を原資産とした商品の開発・販売や自己勘定による暗号資産の投融資・運用による売上拡大に努めております。

2021年11月、当社及び当社の金融サービス事業に属する子会社の商号を変更いたしました。これは、IT金融企業としてのビジョンを明確化するとともに金融サービス事業の子会社をCAICA（カイカ）ブランドへ統一することで更なる認知度の向上を図ることを目的としております。また、同日付で金融サービス事業の効率的な経営及び事業の早期拡大を目的として、金融サービス事業を統括する中間持株会社として、株式会社カイクフィナンシャルホールディングス（以下、「カイクフィナンシャルホールディングス」といいます。）を会社分割の方法により設立いたしました。

また、2021年12月、当社は子会社のカイクフィナンシャルホールディングスを通じて貸金業を営む株式会社フィスコ・キャピタルの全株式を取得し連結子会社化いたしました。併せて同社の商号を株式会社カイクファイナンスに変更しております。

2022年4月には、当社が発行した暗号資産であり、Zaifに上場しているカイクコインを株主優待として進呈することを決議いたしました。当社は今後もカイクコインのサービスの拡充、保有者の拡大、流通の促進を目的に様々な施策を検討・実行していく方針です。

さらに、当社は当社子会社のカイクフィナンシャルホールディングス及び同じく子会社のカイク証券株式会社（以下、「カイク証券」といいます。）を通じて、EWC匿名組合及びEWA匿名組合に出資しておりましたが、当初の想定より人的リソースが掛かっており、今後は人的リソースを金融サービス事業の暗号資産分野に集中することにいたしましたことから、2022年7月に解散いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は5,035百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。これは、株式会社CAICAテクノロジーズ（以下、「CAICAテクノロジーズ」といいます。）におけるシステム開発が堅調であることに加え、株式会社カイクエクスチェンジホールディングス（以下、「カイクエクスチェンジホールディングス」といいます。）、株式会社カイクエクスチェンジ（以下、「カイクエクスチェンジ」といいます。）及び株式会社カイクキャピタル（以下、「カイクキャピタル」といいます。）の連結子会社化による寄与、とりわけカイクキャピタルにおける暗号資産の投融資・運用が好調であり、前年同四半期比で売上高が大幅に増加したことによるものです。

利益面につきましては、当第3四半期連結累計期間から本格開始しているカイクキャピタルにおける暗号資産の投融資・運用による利益が伸長したものの、カイク証券における売上高低迷の影響、カイクキャピタル、カイクエクスチェンジにおける暗号資産価格の下落に伴う暗号資産評価損計上により売上高が低調に推移したこと及びカイクエクスチェンジホールディングス、カイクエクスチェンジ、カイクキャピタルの3社の販売費及び一般管理費の取込等の影響を補いきれませんでした。この結果、営業損失は563百万円（前年同四半期は営業損失568百万円）、経常損失は569百万円（前年同四半期は経常損失578百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は第2四半期連結会計期間において、受取和解金550百万円及び償却債権取立益150百万円を特別利益に計上いたしました。営業損失、経常損失の計上により13百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失120百万円）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### 1) ITサービス事業

CAICAテクノロジーは、金融機関向けのシステム開発分野が好調であり、前年同四半期を上回るペースで進捗いたしました。とりわけ、一次請けである保険会社向け案件の売上が拡大しております。また銀行向けの案件も一次請けベンダからのメガバンク案件を中心に受注が拡大しております。

非金融向けシステム開発分野は、顧客の事業拡大意欲が強く、IT投資も継続されており、新規案件の引合いを常に確保できている状況であります。

フィンテック関連のシステム開発分野は、決済系のシステム開発案件を安定的に受注できております。また、受注には至っていないものの、既存顧客以外の暗号資産交換所システムの引き合いを複数件獲得し、現在商談を進めております。また、ブロックチェーンに関する取り組みとしましては、ジオファーム八幡平と共同で、ブロックチェーンを活用した信頼性の高い産地証明書発行の仕組み開発に取り組んでおります。

更に、CAICAテクノロジーは、Webマーケティングを強化すべく、2022年3月にCAICAテクノロジーのwebサイトを全面刷新するとともに、各ソリューションのランディングページのリニューアルを行いました。

これらの結果、ITサービス事業の売上高は、3,889百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は504百万円（前年同四半期比108.1%増）となりました。

## 2) 金融サービス事業

2021年3月にカイカエクスチェンジホールディングス、カイカエクスチェンジ、カイカキャピタルを連結子会社化したことに伴い、前第3四半期連結会計期間より当該セグメントにカイカエクスチェンジホールディングス、カイカエクスチェンジ、カイカキャピタルの損益を取り込んでおります。

カイカ証券は商品設計、システム開発、安定運用及びリスク管理等の高度な専門知識と経験を持つスタッフを擁し、「投資をもっとお手軽に、もっと面白く」をモットーに投資家の様々なニーズを満たす金融商品を提供しております。これまでの主力サービスであったカバードワラント（eワラント）は、カイカ証券が独自に開発した取引ツール「eワラント・ダイレクト」にて直接販売を継続しておりますが、現在カバードワラント（eワラント）に代わる主力商品として暗号資産を対象とした証券化商品の開発・提供に注力しております。暗号資産を対象とした証券化商品への絞り込み及びコスト削減の観点から2022年4月、証券CFDサービスを終了いたしました。また、2022年5月より順次、eワラントダイレクトにおける取引画面のリニューアルを行いました。シンプルでわかりやすいUIに刷新するとともに最短3ステップの「かんたん注文」機能を追加するなど、より容易な取引が実現しております。リニューアル後は、新取引画面の操作マニュアルや新機能紹介資料、商品の専用ページをweb上で公開するとともに、動画セミナーによる新機能の紹介を行うことで、新規登録者の獲得に努めました。しかしながら、前連結会計年度にカバードワラント（eワラント）の取次先である株式会社SBI証券が新規eワラントの銘柄追加を中止したことによる売上高減少の影響を補うには至らず当第3四半期連結累計期間においても低調に推移いたしました。今後は外部取引先の獲得や商品の改善等、販路拡大に向けた取り組みについても強化を図ってまいります。

カイカエクスチェンジにおける売上高は主に暗号資産交換所Zaifにおける受入手数料や暗号資産売買の損益で構成されております。当第3四半期連結累計期間においては、第2四半期連結累計期間に引き続き、ZaifにおけるUI/UXのリニューアルや、大量注文を処理する性能の向上等、次世代システムへの移行を進めました。次世代システムへの移行は計画どおりに進捗しており、順次提供を開始しております。なお、当該システム移行に係る開発は同じく当社の子会社であるCAICAテクノロジーが担っております。

現在、Zaifの事業におけるストック収益の拡大策として、第一種金融商品取引業者登録を行い「暗号資産FX」サービスを開始するとともに「自動売買おてがるトレード」サービスを開始いたしました。加えて商品ラインナップの拡充を図っており、「Zaifコイン積立」のリニューアル及び対象コインの追加、暗号資産の大口取引需要に対応するため専用の問合せ窓口「クリプトOTCデスク」を設置いたしました。また暗号資産の新規取り扱いとしては、コスプレトークン（COT）に加え、ボルカドット（DOT）を開始いたしました。しかしながら、当第3四半期会計期間は、各国の金融引き締めが加速したことやウクライナ情勢の長期化によるインフレが影響し、暗号資産はリスクアセットとして大きく売られ、暗号資産の価格は大幅に下落いたしました。こうした

市場環境の中、カイカエクスチェンジが運営する暗号資産交換所Zaifにおいて、暗号資産評価損を計上したことに加え、暗号資産価格の下落に伴う取引高の減少により売上高は低調に推移いたしました。今後は引き続き暗号資産の新規取り扱い、暗号資産の市場の影響を受けにくいストック型収益商品を拡充してまいります。なおカイカエクスチェンジにおいてイニシャル・エクスチェンジ・オファリング（IEO）の実施を検討しているSkeb Coin（スケブコイン）については、引き続き暗号資産交換所Zaifでの取り扱いに向け準備を進めてまいります。

カイカキャピタルにおきましても、暗号資産の市況悪化の影響を受け、暗号資産評価損を計上しておりますが、第2四半期連結累計期間までの暗号資産の投融資・運用の好調によりカバーしており、当第3四半期連結累計期間においては、予想を上回るペースで進捗しております。またレンディングサービスも活発化させており、ビットコイン（BTC）、シンボル（XYM）、カイカコイン（CICC）の募集を開始いたしました。レンディングサービスの募集は今後も継続的に行っていく予定です。また、暗号資産の投融資・運用につきましても、暗号資産の価格の推移を見極めつつ、慎重なトレーディングを行ってまいります。

当社におきましては、保有しているカイカコインの一部を売却いたしました。期末に向け、引き続き保有暗号資産の売却を検討しております。

これらの結果、金融サービス事業の売上高は1,338百万円（前年同四半期比100.0%増）、営業損失は789百万円（前年同四半期は営業損失381百万円）となりました。

※カイカエクスチェンジホールディングス、カイカエクスチェンジ及びカイカキャピタルは9月決算であることから、当第3四半期連結累計期間は10月～6月の9ヵ月分が損益計算書に連結されております。

### 3) その他

その他につきましては、暗号資産関連コンテンツの提供を行うメディア事業で構成されており、売上高は100百万円、営業利益は100百万円となりました。なお、メディア事業は当第3四半期連結会計期間からの事業の開始であることから前年同四半期比の記載はございません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は60,819百万円（前連結会計年度比43.3%減）となりました。これは主に、利用者暗号資産41,657百万円、預託金4,405百万円が減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は49,272百万円（前連結会計年比48.6%減）となりました。これは主に、預り暗号資産41,657百万円、預り金4,217百万円が減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は11,547百万円（前連結会計年比1.3%増）となりました。これは主に、非支配株主持分88百万円が増加したことなどによるものであります。以上のとおり、当第3四半期連結会計期間末においては、自己資本比率が18.3%（前連結会計年度末10.3%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向等をふまえ、2021年12月20日に公表した2022年10月期（2021年11月1日～2022年10月31日）の通期連結業績予想を取り下げることといたしました。

暗号資産市況の低迷、暗号資産価格の下落に伴う暗号資産交換所Zaifにおける取引高の減少及び暗号資産評価損の計上等により、金融サービスセグメントにおける2022年10月期第3四半期連結累計期間の業績と2021年12月20日に公表した連結業績予想との間に乖離が出ております。現時点において適正かつ合理的な連結業績予想の算定が困難であることから、2021年12月20日に公表した連結業績予想を取り下げ、未定とさせていただきます。

なお、2021年4月13日付で開示いたしました「CAICA中期経営計画（改訂版）（2021年10月期～2023年10月期）」につきましても、取り下げさせていただきます。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,248,977	3,418,952
預託金	14,284,200	9,879,000
受取手形及び売掛金	669,952	837,350
商品	5,914	876
仕掛品	48,118	8,081
自己保有暗号資産	499,089	1,368,783
利用者暗号資産	79,689,336	38,031,362
短期貸付金	600	20,000
未収入金	142,565	135,319
預け金	894,885	404,554
その他	274,750	180,710
流動資産合計	100,758,391	54,284,992
固定資産		
有形固定資産	158,908	74,545
無形固定資産		
ソフトウェア	133,355	330,996
のれん	5,457,052	5,209,004
その他	16,198	85,574
無形固定資産合計	5,606,606	5,625,576
投資その他の資産		
投資有価証券	559,936	603,629
出資金	59,374	60,253
長期貸付金	194,551	288,845
その他	96,134	106,017
貸倒引当金	△215,776	△224,085
投資その他の資産合計	694,221	834,660
固定資産合計	6,459,736	6,534,781
資産合計	107,218,127	60,819,773

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	206,709	245,170
1年内返済予定の長期借入金	180,000	180,000
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払金	203,230	314,889
預り金	13,779,776	9,562,759
預り暗号資産	79,689,336	38,031,362
借入暗号資産	105,586	57,244
未払法人税等	37,291	99,666
未払消費税等	146,127	47,211
賞与引当金	154,064	75,505
その他	587,579	201,374
流動負債合計	95,229,702	48,955,184
固定負債		
社債	210,000	120,000
長期借入金	360,000	180,000
繰延税金負債	-	259
その他	21,792	16,582
固定負債合計	591,792	316,842
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	8	8
特別法上の準備金合計	8	8
負債合計	95,821,503	49,272,035
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	997,732	50,000
資本剰余金	14,203,926	12,145,310
利益剰余金	△4,112,998	△1,012,701
自己株式	△99,444	△103,192
株主資本合計	10,989,215	11,079,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,888	△47,646
為替換算調整勘定	100,738	101,820
その他の包括利益累計額合計	77,850	54,174
新株予約権	7,291	3,731
非支配株主持分	322,266	410,416
純資産合計	11,396,624	11,547,737
負債純資産合計	107,218,127	60,819,773



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)
売上高	4,271,769	5,035,867
売上原価	3,238,579	3,037,021
売上総利益	1,033,189	1,998,845
販売費及び一般管理費	1,601,762	2,562,432
営業損失(△)	△568,572	△563,586
営業外収益		
受取利息	12,580	3,389
受取配当金	1,739	2,983
助成金収入	25,710	-
賞与引当金戻入額	-	3,834
その他	11,664	1,977
営業外収益合計	51,694	12,185
営業外費用		
支払利息	6,153	4,307
支払手数料	6,151	4,982
持分法による投資損失	25,507	-
株式交付費	9,983	3,376
社債発行費等	4,567	-
その他	8,787	5,643
営業外費用合計	61,150	18,309
経常損失(△)	△578,029	△569,711
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,000	7,598
償却債権取立益	-	150,000
負ののれん発生益	-	637
関係会社株式売却益	15,311	-
段階取得に係る差益	1,379,593	-
受取和解金	-	550,837
特別利益合計	1,403,904	709,072
特別損失		
減損損失	981,292	-
特別損失合計	981,292	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△155,417	139,361
法人税、住民税及び事業税	10,731	93,010
法人税等合計	10,731	93,010
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△166,148	46,350
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,145	60,115
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△120,003	△13,764

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△166,148	46,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,954	△24,758
為替換算調整勘定	287	1,081
持分法適用会社に対する持分相当額	1,774	-
その他の包括利益合計	△6,892	△23,676
四半期包括利益	△173,041	22,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△126,896	△37,441
非支配株主に係る四半期包括利益	△46,145	60,115

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

行使価額修正条項付株式会社CAICA第2回新株予約権（停止要請条項付）の一部権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ53,851千円増加しております。

また、当社は、2022年1月28日開催の定時株主総会において、当社の繰越利益剰余金の欠損を補填し更なる財務体質の健全化を図り効率的な経営を推進することを目的とする無償減資及び剰余金の処分について決議し、2022年3月1日を効力発生日として資本金が1,001,583千円減少、資本準備金が9,398,841千円減少し、その他資本剰余金が10,400,425千円増加しており、そのうち3,114,061千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が50,000千円、資本剰余金が12,145,310千円、利益剰余金が△1,012,701千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

また、受注制作のソフトウェアに係る収益の認識時期について、従来は、開発作業の進捗部分について成果の確実性が認められる場合には、工事進行基準によっておりましたが、財又はサービスに対する支配が顧客に一定の期間にわたり移転する場合には、財又はサービスを顧客に移転する履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した開発原価が、予想される開発原価総額に占める割合に基づいて行っております。また、契約の初期段階において、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積ることができないが、発生する費用を回収することが見込まれる場合は、原価回収基準にて収益を認識しております。なお、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い受注制作のソフトウェアについては代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ITサービス 事業	金融サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,602,731	669,038	4,271,769	—	4,271,769
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,242	—	3,242	△3,242	—
計	3,605,973	669,038	4,275,012	△3,242	4,271,769
セグメント利益又は 損失(△)	242,365	△381,511	△139,145	△429,426	△568,572

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去の△591千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△428,834千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運用に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計
	ITサービス 事業	金融サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,687,307	1,338,049	5,025,357	10,509	5,035,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	202,133	—	202,133	—	202,133
計	3,889,441	1,338,049	5,227,491	10,509	5,238,001
セグメント利益又は 損失(△)	504,338	△789,915	△285,577	10,509	△275,068

	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高		
外部顧客への売上高	—	5,035,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△202,133	—
計	△202,133	5,035,867
セグメント利益又は 損失(△)	△288,518	△563,586

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去の△24,228千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△264,290千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運用に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、新規でメディア事業を開始しており、当該事業の開始により、報告セグメントには含まれない「その他」を追加しております。